

新規指定の重要文化財

名 称	たいりゅうさんそう 對龍山莊	棟 数	4 棟
所 在 地	きょうとふきょうとしさきょうくなんぜんじふくちちょう 京都府京都市左京区南禅寺福地町22 番地 1		
所 有 者	株式会社ニトリホールディングス		
指定基準	(一) 意匠的に優秀なもの		
建 物 名	構 造 形 式	建 立 年 代	
おもや 主屋	木造、建築面積 464.35 平方メートル、一部 2 階建、棧瓦葺一部こけら葺及び銅板葺	明治 29 年(1896) ／明治 38 年(1905) 頃増改築	
きたどぞう 北土蔵	土蔵造、建築面積 27.82 平方メートル、2 階建、棧瓦葺	明治 38 年(1905)	
みなみどぞう 南土蔵	土蔵造、建築面積 64.58 平方メートル、2 階建、北面下屋付、棧瓦葺	明治 38 年(1905)	
おもてもん 表門	木造、棟門、切妻造、左右袖壁付、両潜戸含む、棧瓦葺	明治 38 年(1905)頃	
[解説] 對龍山莊は、南禅寺門前の一角に広大な敷地を構える別荘建築である。建築と作庭に優れた技術者・伊集院兼常 <small>いじゅういんかねつね</small> の旧居である聚遠亭 <small>じゅおんてい</small> と茶室に、東京の大工棟梁・島田藤吉 <small>とうきち</small> が對龍台 <small>たいりゅうだい</small> と居間棟などを増改築して、明治 38 年頃に完成した。 巧妙な建物配置により庭園との調和と一体感に極めて優れ、卓越した手腕でまとめられた趣の異なる座敷や茶室が重層的な空間を形成する、上質な近代和風建築として貴重である。			



對龍山莊 主屋及び北土蔵 外観 ((株) ニトリホールディングス提供)



對龍山莊 主屋 聚遠亭 縁部分 (京都市文化財保護課提供)